

## 令和5年度 児童アンケート結果(%)

質問	2学期 11月	3学期 2月
①学校に行くのは楽しいと思いますか。	92	93
②学校の勉強は、よくわかりますか。	90	95
③タブレットは勉強の役に立っていますか。	98	97
④先生や友達の話をよく聞いていますか。	95	98
⑤家庭学習は、時間をかけて取り組んでいますか。 (低30・中50・高70分間以上)	75	77
⑥自分から何度でもあいさつができてますか。	88	87
⑦しょうらいの夢や目標を持っていますか。	87	84
⑧友達と楽しく遊んだり話したりしていますか。	95	99
⑨友達が困っているとき、声をかけたり助けたりしていますか。	92	94
⑩言葉づかいに気を付けていますか。 (○ふわっと言葉▲ちくっと言葉)	90	92
⑪集団登校の班では、周りの人と協力していますか。	87	93
⑫中休みや昼休みの時間に、外で元気に遊んでいますか。	80	76
⑬そうじの15分間、だまって一生けんめいはたらいていますか。	86	84
⑭交通安全に気を付けていますか。(ヘルメット)	97	99
⑮持久走など、体力づくりにいよくてきに取り組んでいますか。	82	80
⑯給食はのこさず全部食べていますか。	90	91
⑰先生は、わかりやすく教えてくださいか。	97	98
⑱先生はあなたのよいところをみとめてくれると思いますか。	92	92
⑲自分には、よいところがあると思いますか。	77	85
⑳自分せんようのスマホやタブレットを持っていますか。	61	67

90%以上 80%未満

※ 全校児童を対象にタブレットを使って実施。4件法（④当てはまる③だいたい当てはまる②あまり当てはまらない①当てはまらない）で回答。上記は、肯定率（④③と回答）の割合。

## 結果に対する考察と所見

多くの児童が学校に対して愛着を持ち、学習に対して一生懸命に取り組んでいることが分かる。

励みにすると同時に、90%以上の肯定率（④③と回答した児童の割合）がある項目についても、「（あまり）当てはまらない。」と答えた児童がいることに留意し、更に一人一人を大事にした教育活動を行っていききたい。

また、毎月定期的に行う「学校生活アンケート」の回答を基に、今後も積極的に児童に対する教育相談を行っていく。

⑤⑳については、スマホやゲームのスクリーンタイムの増加が宿題や自主学習に向かう時間の減少につながっているかもしれない。学年に応じた家庭での過ごし方に関する指導や御家庭への協力の呼び掛けが必要である。

㉑については、室内遊びや読書などをして過ごす児童の思いも尊重しながら、天気の良い日を中心に外遊びの良さも促していききたい。一定時間の運動や体を動かす遊びは集中力が増したり、不安が減ることにつながったりすることが言われている。

㉒については、昨今メディアによく取り上げられているとおり、「自己肯定感」が低い児童が増えてきている。自信を持てるよう声掛けをしたり自分の持ち味や強み・個性に気付くような授業を道徳や学級活動で展開したりしていく必要がある。